

道の駅の新たなステージ（第3ステージ）に向けて

第8回全国道の駅連絡会総会・シンポジウム in 宇多津を開催

香川県 宇多津町 地域整備課
主任主事 藤原 敬也

1. はじめに

令和元年10月23日（水）に第8回全国道の駅連絡会総会・シンポジウム in 宇多津（以下、本会という）が開催されました。本会は、「道の駅」の新たな取り組みや連携を考えるもので、8回目となる今回は四国ブロックの香川県宇多津町での開催となりました。本会は、**図-1**に示す宇多津町の「ユープラザうたづ」で行われました。

開催地の宇多津町は、香川県のほぼ中央に位置し、北部に瀬戸内海に面した市街地、南部に田園地帯が広がる面積は8.10km²と県下で一番小さな町です。市街地は、古くからの伝統と趣きを残す既成市街地と、かつての塩田跡地を埋め立てて区画整理された新市街地の特徴ある2つの顔を有する町です。

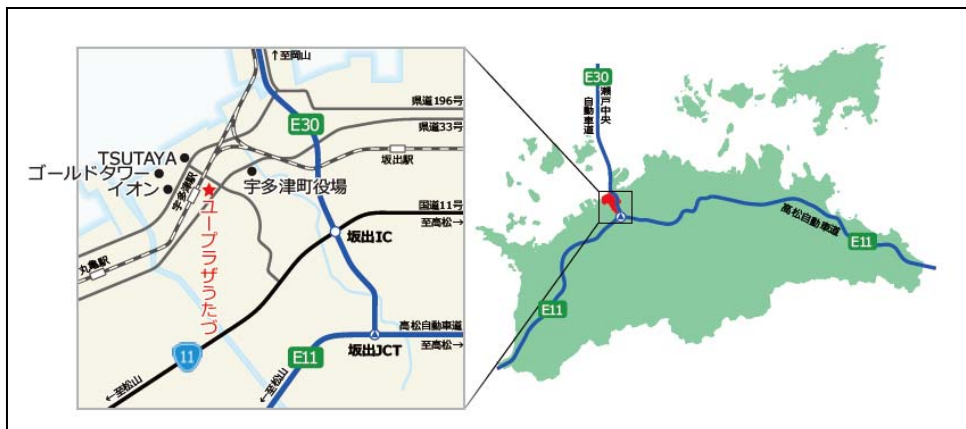


図 - 1 開催場所

2. 「道の駅」の概要

「道の駅」は平成5年の制度開始以来26年が経過し、現在では1,160駅（令和元年6月現在）が登録されています。近年の「道の駅」は休憩・情報発信・地域連携といった機能に加え、災害時の被災者支援、広域応援拠点としての防災機能や観光情報の提供など地域観光のゲートウェイ機能を有し、地域活性化の拠点として欠かすことのできない役割を果たしています。

3. 総会・シンポジウムの内容

本会は、道の駅の新たなステージ（第3ステージ）に向けて、地方創生を更に加速するとともに利用者や地域からの期待や信頼に応えていくため、インバウンド受入環境の整備や多様な団体や機関との新たな連携に関する取組等を一層深化させる契機となることを目的として開催されました。

全体プログラムは**図-2**に示すとおりです。本会には、全国から約1,000人の「道の駅」関係者等が参加し、基調講演、パネルディスカッションが行われました。

また、同時開催した「道の駅まつりin宇多津」では、四国4県の「道の駅」から28駅の出店があり、四国各地のグルメや特産品を楽しめるとあって、多くの方々が来場されました。

時 間	内 容
13:00～13:50	<p>一般社団法人 全国道の駅連絡会 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 ・来賓紹介・来賓祝辞 ・議長選出・議事録署名人選出及び書記指名 ・議事（議案、その他） ・閉会
13:50～14:00	休憩
14:00～17:30	<p>全国「道の駅」シンポジウム in 宇多津</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催挨拶 四国地区「道の駅」連絡会会長 宇多津町長 谷川 俊博氏 ・来賓挨拶 香川県知事 浜田 恵造氏 ・来賓紹介 国土交通省 道路局 道路局長 池田 豊人氏 国土交通省 四国地方整備局長 小林 稔氏 ・基調講演 テーマ：「道の駅 第3ステージへ」 石田 東生氏（筑波大学名誉教授） ・パネルディスカッション テーマ：「地方創生に向けた新たな「道の駅」の取組」 コーディネーター：山中 英生氏 (徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 理工学域 教授) パネリスト：楓 千里氏（JTB パブリッシングエグゼクティブ・アドバイザー） 黒川 征一氏（三好市市長） 宍戸 栄徳氏（NPO 法人遍路とおもてなしのネットワーク事務局長） 松村 暢彦氏（愛媛大学社会共創学部 環境デザイン学科 教授） 村上 秀人氏（（株）しまなみ代表取締役社長） ・宇多津宣言 ・閉会

図 - 2 全体プログラム



全国道の駅連絡会総会

四国地方整備局
小林局長



シンポジウム挨拶
国土交通省 道路局
池田局長



基調講演
石田筑波大学名誉教授



パネルディスカッション



宇多津宣言



道の駅まつり

写真-1 全国道の駅連絡会総会・シンポジウム開催状況写真

3. おわりに

宇多津町の道の駅「恋人の聖地 うたづ臨海公園」は、塩田跡地を整備した新市街地にあり、瀬戸内海に面した美しい夕日を望めることから、幅広い世代の方々にご利用いただいております。この公園内に令和2年3月に民設・民営による四国最大級の次世代型水族館の「四国水族館」がオープン致します。本町においても現在、周辺整備を進めていますが、この水族館が新たな観光拠点として四国各地の道の駅との連携により、さらなる賑わい創出の一役となるよう取り組んで参りたいと存じます。最後になりますが、本会が多くの関係者のご協力により無事終了できましたことを感謝申し上げます。



図-3 四国水族館完成イメージ図